

うにしましょう。

○餌の周囲に猫のトイレを置き、近隣や場所の管理者からの理解を得るようにしましょう。

○餌を与える場所は、清潔しきれいにしましょう。

○不妊去勢手術をしましょう。

これらのことを守り、人も猫も住みやすい地域になるようにしましょう。

◎飼い主のいない猫の

不妊去勢手術について

猫は1年間で2〜3回出産し、1回の出産で約5匹の子猫を生み、生後約半年から子猫を生むことが出来るため、1年後には50匹以上が増えていく可能性があります。

町では公益財団法人どうぶつ基金が費用負担している「さくらねこ無料不妊手術事業」を活用し、町内外のボランティア団体と協力して飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことで、人と動物の共生できる環境

を目指しています。飼い主のいない猫への不妊去勢手術の相談については、環境整備課までご連絡ください。町内のボランティア団体「奥多摩ねこねつと」を紹介します。なお、(公財) どうぶつ基金「さくらねこ無料不妊手術事業」はつぎの方法により、一般枠として個人で申し込むことができます。

①(公財) どうぶつ基金

ホームページ(https://www.doubutukikin.or.jp/active/campaign/campaign-test)を参照し、TNRどうぶつ基金マイページに登録する。
*登録完了後、マイページを利用するためのパスワードが発行されます。

②TNRどうぶつ基金マイページにメールアドレスとパスワードを入力する。チケット申請画面に進み、必要事項を入力する。

※問い合わせは、環境整備課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

課 ☎ 83-2317

ごみを減らす 10アクション

【ごみ減量化への取組】

3月号から「ごみを減らす10アクション」として、毎月、1つの取組方法の紹介を始めました。今月号は2回目となります。

◎アクション2 環境にやさしい製品

製品を選ぼう!

環境にやさしい製品とは、その製品の原料がリサイクル(再生)されているもの、省エネ製品(LED照明など)、詰め替え可能な製品などです。

エコマークなどの表示を参考に、普段の買い物から出来るだけ「環境にやさしい製品」を選ぶよう心がけましょう!

※問い合わせは、環境整備課(クリーンセンター) ☎ 83-2110

課 ☎ 83-2110

課 ☎ 83-2110

課 ☎ 83-2110

課 ☎ 83-2110

課 ☎ 83-2110

簡易電気柵等購入費用 助成事業の制度変更のお知らせ

◎昨年度までの現物給付を廃止し、今年度より現金給付になります

町に住居登録があり、町内の農地で耕作をし、設置後も継続して耕作をする方を対象に、簡易電気柵などの購入費用の2分の1(上限3万円)を補助金として交付します。

ただし、購入費用が5千円に満たない場合は、補助対象外となります。申請方法など詳しくはお問い合わせください。

※問い合わせは、観光産業課 ☎ 83-2295



有害鳥獣捕獲実施中

奥多摩町全域を対象に有害鳥獣捕獲を実施しています。期間は4月上旬から翌年3月31日までです。

農林産物の被害や、人家近くでサルなどを見かけた場合は、観光産業課までご連絡ください。

なお、果樹の取り残しや野菜のくずが畑に放置してあると、動物が人里に出没する原因になりますので、獣を寄せ付けないように気を付けましょう。

※問い合わせは、観光産業課 ☎ 83-2295

課 ☎ 83-2295